



日 時	平成 23 年 7 月 23 日(土) 9 時 30 分～12 時 (予定)
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 2-10-17 石原ビル 2F
出席者	出席： 青木、金城、木村、岩下、日野、竹政、丹下、川村、西川 土屋(skype), 阪井(skype), 坂井会員(オブザーバー)
欠席者	理事(委任状有)：正岡、平山(川村委任)、神野
議 題	特別事項 審議事項 1 書記・承認者指名 (会長) 2 5 月度、6 月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 総会の総括 (各担当部会) 【各部会至近課題と今期の計画について】 5 総務部会 震災復興資金活用、官庁届出、細則、交通費ルール (総務部会) 6 教育部会 WEB 配信機材購入、CPD セミナー計画 (web セミナ含) (教育部会) 7 広報部会 スカイプ version-up、新組織の紹介広報 (広報部会) 8 企画部会 Ad hoc Task の立上 (企画部会) 9 渉外部会 JPower 見学会 (渉外部会) 10 会員部会 学生会員定義、学生会員掘り起しとサービス検討 (会員部会) 11 会計部会 年会費銀行引落検討 (会計部会) 12 JPEC・JSPE タスクフォース (州登録 Tips 作成含む) (渉外部会) 報告事項 1 NSPE 総会参加速報 (渉外部会) 2 JPEC 理事会情報 (総務部会)
添付資料	添付 1. 課題と今期の計画 (各部会) 添付 2.



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p> <p>1. 書記・承認者指名 (敬称略) 書記 : 木村 議事録承認者 : 金城、岩下、竹政</p> <p>2. 5月度議事録確認 総会準備、NSPE派遣計画、JPECとの分担など確認 6月度議事録確認 省略</p> <p>3. 会員入会承認・退会確認</p> <p>新入会員 なし</p> <p>資格変更 PE-0199 小林 洋悦 様 (旧 PEN-0068) PE-0200 岩崎 友洋 様 (旧 PEN-0067)</p> <p>退会者 PE-0133 小林 英彦 様 (正規退会) AF-0050 飯塚 誠 様 (正規退会)</p> <p>資格喪失 なし</p> <p>会員数 6月度理事会後 PE 158名 準PE 41名 FE 128名 AF 30名 ST 2名 合計 359名 7月度理事会後 PE 159名 準PE 39名 FE 128名 AF 29名 ST 2名 合計 357名</p> <p>・デラウェア州 PE の小林氏には、目新しい州なので、体験談を期待している。</p> <p>4. 総会の総括</p> <p>・報告、まとめ関係 会計報告は8月理事会で行う。総会の反省事項は以下のとおり。 ①集合時間をもっと早くした方が良い。 ②受付業務全体をコントロールする人を理事以外から選任して依頼するべき。 また、領収書はあらかじめ印刷しておく方式の方が時間をとらない。 ③場所変えたい。来年は、再度アメリカン倶楽部が良いのでは？(人脈必要)→総務 ④Web 配信は、視聴者が少なかった。複数マイクの使いわけに課題。アンプ利用必要。</p> <p>・事業報告書、10周年誌・CDの発送を終了した(海外は、米国3、韓国、マレーシア、オーストラリア)。</p> <p>【各部会至近課題と今期の計画について】</p> <p>5. 総務部会</p> <p>・法務局届出終了、登記待ち、東京都は役員変更届を再送することで受理予定。 ・事業報告書は国会図書館提出用ハードカバー版作成終了、提出へ (木村確認) ・スカイプグレイドアップは効果不明だが、とにかく実施する (木村) ・首都圏理事交通費は一律2千円支給で全体予算20万円までという案を予定していたが、討論の結果、意見が分かれた。 8月の理事会までにmanaging directorsが3案くらいにまとめて提案し理事内で合意に達した上、細則にのっとる正式制度として運用する。主な意見は、以下の通り ①実費を支給する。そうしないと遠方よりの参加は負担が大きく、若い理事が参加しにくい理由のひとつになる恐れがある。 ②千円、二千元、三千元などにクラス分けする。 ③一律支給の考えは、合格祝賀会など年間を通じた、理事の全体的貢献に対する謝</p>	<p>(会長)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(会員部会)</p> <p>(担当各部会)</p>



議事内容	アクション
<p>礼的な意味合いがあり、必ずしも、交通費実費補填の主旨とはなじまない。</p> <p>④交通費の問題はNPO 設立当初から議論されてきた。端的に言えば、交通費などに 出費するより、教育内容の充実にまわすべきという意見も有る (後述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災復興支援 主たる用途について議論があった。 ①Web で募金した、16 万 1 千円は赤十字などしかるべきところに寄付。領収書をも らい、寄付された各位へ通知するとともにマガジン上に氏名掲載の可否を問う。 ②予算で組んでいる 30 万円はエンジ関係の研究プロジェクトへの寄付や、被災した 大学への援助や、石巻の社団法人への支援などが提案されたが決まらなかった。 ひとまず、東北 3 県の大学を対象に寄付を受け付ける団体を調査しコンタクトす る。遅くならないように 9 月までに決める。(理事全体が担当) <p>6. 教育部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ 2,3 年教育活動が停滞していると思う。もっと活性化が必要である。JSPE の本 来の設立目的(教育等)を再度サーベイして欲しい。 テーマでは、会社で教えず、且つ皆が知りたい技術的内容(例:原発事故)を掘り 起こして欲しい、(アンケートを実施する等の方法で) ・場所については、内海だけでなく、土屋さん勤務先の会社の会場を借りることも可 能である。Web 配信の活用も含めて、教育部会員と相談すること。 ・各理事は自身も含めて、講師になれる知り合いを 1 人 2 人持っているはずである。 講師のリソースを 8 月一杯に貯めること。大学教授に限らず、コンサルタントなど CPD が欲しい人も有力である。 ・集客力次第で予算オーバーも予想される。過去には収支均衡を言われたこともある が、魅力的なセミナーにするために多少の予算超過はあっても良い。会員のために 何処でお金を使うかという問題であり、寄付にまわす余裕があったら教育に使った 方が良い。 (理事会後の意見) ・鬼金セミナーは今年関西で 10 回、関東で 3 回予定しているが、関東独自で開催でき ないか? ・専門分野にこだわると、今でも少ない参加者が更に少なくなる懸念もある。より広 い分野のテーマも視野に入れた方が良い? <p>7. 広報部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新理事役員の紹介文を該当理事に要請する。 ・FFFTP の管理要領(フォルダ作成とバックアップの責任者)の徹底 ・HP の英語頁の FAQ などの更新をする ・Facebook の活用につき馬場部会員にアイデアを求める。JSPE の頁を作ってはどうか。 若い人のフランクな意見交換ができる場を提供するとともに世代間のギャップを解 消し、組織の若返りを図るのに有効なツールであると考える。 一方、Facebook 一般の現状を見ると、単なるチャットの交換であって、あまり専門 的な議論などは登場しない。SNS で狙いの機能を発揮させるためには研究が必要な 気がする。馬場氏の意見も参考にする。 <p>8. 企画部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例行事として①イヤーエンドパーティ、②事業報告書作成、③エンジニアリング サロンを実施する。 ①は金城さんが支援。②従来どおり。③YES について坂井さんから引継ぎ。前田 部会員の都合と調整するが、多忙なので他の理事の援助が必要かも知れない。 ・技術倫理アドホックコミティ立ち上げ 参考書を欧米に求め、単純な資料の翻訳ではなく、実際の身近な課題に適用する視 点で討論し、活動する。期間は 2 年間とし一年ごとに活動結果をまとめる。成果を 年次報告書に発表するとともに、できれば提言として投稿やマスメディアへの発信を 	



議事内容	アクション
<p>行う。なお、NSPEのEthics資料は充実している。このアセットをもっと活用することをアドホックで取り上げて欲しい。</p> <p>技術倫理以外にも、各専門分野技術者が集まっているJSPEの強みとして横断的な技術検討をしたい。テーマとして、①BP事故、②震災関連、③SCMなどが有る。①については、土屋会長が担当する。②畑村委員会の諮問をレビューしたい(年内?)。③については会員の中に心当たりを探す。</p> <p>9. 渉外部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月6日に横須賀オープンデイへの対応を話し合った。基地内でフォーカル氏あるいはガビガ氏とコンタクトして、今後の行事の相談をしたいが、連絡が十分ではない。まず、彼らと連絡を取り合い、必要であれば、理事の誰かが参加する。但し、現時点では、未定。 ・NSPE 総会参加速報 川村、三宮、馬場の3氏が参加。プレゼンを実施、主なトピックは ①Exemption 制度撤廃を継続中だが、結論は出ていない。 ②ワシントン州でもCPDを義務付ける方向で進んでいる(多分来年)。 ③次期会長Wittliff主催のソフトウェアPE協議会に参加。彼は多分来年来日 ④韓国は已然としてPE州登録問題で模索中。 ⑤NSPEにPEマガジンpdf化を検討中 ⑥NSPEとJSPE提携10周年記念の額縁入り”Proclamation”を贈られた。 <p>10. 会員部会 学生会員定義、学生会員掘り起しとサービス検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員情報の案内サービスの充実を図る ・SNSの活用法を研究する ・学生会員でFE会員である問題につき細則再確認 ・退会規定の変更は特に必要としない。 ・合格祝賀会の見直しについては、JSPE内のアンケート結果をJPECに渡し、JPECにておいても検討してもらう。但し、そのこととは別に、来年3月は開催を前提に準備を進める。 <p>11. 会計部会 年会費銀行引落検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行引き落とし(振込み)については検討中である。引き落とし回数によるが手数料など適当で、且つ手間がかからない方法が見つかれば採用もあり得る。(NPO運営さぼりとNPOの頁など) <p>12. JPEC・JSPEタスクフォース(州登録Tips作成含む)</p> <p>● 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JPEC理事会出席報告(西川) NCEES総会へJPECからは、山内、泉山、奥野参加予定。 溜池事務所移転計画中・・・JPECのプロジェクト <p>次回、8月20日(土)</p>	

承認	竹 政 一 夫	
承認	金 城 隆	
承認	岩 下 哲	
記録作成	木 村 一 夫	